

# 観光目的税に係る制度設計(税率)について

## ■ 税率・税収規模（試算）・徴税コスト

### ① 一律定額方式

税率	課税免除	税収規模 A	徴税コスト B	差引 C : A - B	徴税コスト比率 B/A
1人1泊につき 200円	①宿泊料金による課税免除はなし ②修学旅行は課税免除	52.9億円	4.6億円	48.3億円	8.7%

### ② 段階的定額方式

税率	課税免除	税収規模 A	徴税コスト B	差引 C : A - B	徴税コスト比率 B/A
宿泊料金1人1泊につき ～19,999円 : 200円 20,000円～ : 500円	①宿泊料金による課税免除はなし ②修学旅行は課税免除	56.8億円	5.0億円	51.8億円	8.8%

注1) 税収規模は「H29沖縄県観光要覧（入域観光客数及び平均泊数）」、「観光庁H29宿泊旅行統計調査（県民宿泊割合）」、「H29沖縄県観光統計実態調査（宿泊料金割合）」に基づき算定

注2) 徴税コストの内訳は、人件費、旅費、需用費（システム維持費、印刷費など）、特徴義務者報償金（税収の2.5%と仮定）

# 観光目的税に係る制度設計(税率)について

## ■ 作業イメージ

### ① 一律定額方式

人数	日付	宿泊者名	A : 宿泊料金	B : 含まれないもの ※食事代、消費税など	C : 素泊まり宿泊料金 A - B	税額
1	2月1日	A				200
2	2月1日	B				200
3	2月2日	A				200
4	2月3日	C				200
5	2月2日	A				200
100	2月28日	Z				200

宿泊料金を捕捉する必要がない。  
→ 宿泊人数だけを捕捉

2月宿泊人数 × 税率 =	税額
100人 × 200円 =	20,000円

### ② 段階的定額方式

人数	日付	宿泊者名	A : 宿泊料金	B : 含まれないもの ※食事代、消費税など	C : 素泊まり宿泊料金 A - B	税額
1	2月1日	A	9,180			200
2	2月1日	B	11,340			200
3	2月2日	A	7,560			200
4	2月3日	C	6,480			200
5	2月3日	A	18,900			200
6	2月5日	D	26,460	4,460	22,000	500
100	2月28日	Z	22,140	4,140	18,000	200

宿泊料金が2万円未満は一律200円  
→ 宿泊人数だけを捕捉

1泊2食付き  
1泊2食付き  
1泊朝食付き  
1泊食事なし  
1泊2食付き  
1泊2食付き

2月宿泊人数 × 税率 =	税額
99人 × 200円 =	19,800円
1人 × 500円 =	500円
100人	20,300円

#### ●課題

【宿泊料金が2万円以上の価格帯がある宿泊施設】  
①素泊まり宿泊料金を設定するために、各商品プランごとにコード情報(食事代など)を設定する必要がある  
→ 施設側の作業負担

A : 宿泊料金  
B : 含まれないもの(食事代、消費税など)  
C : 素泊まり宿泊料金(A - B)

① C : 素泊まり宿泊料金 < 20,000円 ⇒ 税額 200円  
② C : 素泊まり宿泊料金 ≥ 20,000円 ⇒ 税額 500円